

コミュニティバス（C-BUS）運行開始式典

北谷コミュニティバス（C-BUS）の実証運行を開始するに当たって、町役場で式典を開催した。

■開催概要

日時	平成 29 年 6 月 15 日（木）14 時 30 分～16 時 00 分
場所	北谷町役場庁舎玄関前
次第	①開会 ②町長あいさつ（北谷町長 野国昌春） ③来賓あいさつ（内閣府沖縄総合事務局運輸部長 嘉村徹也） ④来賓紹介 ⑤感謝状贈呈（沖縄県立北谷高等学校美術部） ⑥安全宣言（株式会社琉球バス交通） ⑦花束贈呈（株式会社琉球バス交通） ⑧テープカット（主催者、来賓者ほか） ⑨閉会 ※式典閉会后、希望者のみ運行ルートの試走を行った





第3種郵便物認可

北谷町役場
コミュニティーバス（後方）をデザインした北谷高校の生徒ら



循環バスに北谷の風景

3台で実証運行開始

【北谷】町は19日、町内を循環する「コミュニティーバス・愛称「C-BUS（シーバス）」の実証運行を始めた。バスは3台で、北谷高校美術部の生徒ら有志8人が北谷らしさをイメージし、外装のデザインを手がけた。

バスは観覧車や町の自然を盛り込んだ緑色の「北谷」、ビーチなどを描いた青の「南国リゾート北谷」、アメリカ文化との融合をイメージしたオレンジの「アメリカン北谷」の3台。

運行開始式典が15日、町役場であり、出席した町や商工会、自治会の関係者らにバスが披露された。野国昌善町長は「かわいらしいデザイン。町民に親しまれるバスになるよう期待している」と話し、同高美術部に感謝状を贈った。

3年の洲鎌美乃さん(17)は

北谷高生がデザイン

完成したバスを前に「すごく感動した。自分のデザインが立体になるのは初めて。本当につれしい。皆さんに気軽に乗ってもらい愛されてほしい」と声を弾ませた。

シーバスの運行は2ルートで、砂辺、上勢頭、桃園などを通る北コースと、北前謝、北玉などを通る南コース。いずれも午前7時台～午後7時台まで、平日7便、土日祝日は6便。運賃は一般200円、障がい者や高齢者、小学生などの割引対象者は100円。

町はコミュニティーバス導入により、お年寄りなどの交通弱者や観光客の利便性向上、公共交通空白帯の改善につなげたい考え。18年度まで実証運行し、2019年度の本格導入を目指している。